

# 第2期子ども笑顔かがやきプランにおける量の見込みと確保方策の見直しについて

## 1. 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプランについて

少子化の急速な進行や待機児童の増加など、家庭や地域の子育てをめぐる環境の変化に対応するため、平成24年8月に「子ども・子育て支援関連3法」が制定され、平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」が施行されました。

本町では、新制度に基づき、平成27年度から令和元年度までの5年間を計画期間とする大磯町子ども笑顔かがやきプランを策定し、教育・保育ニーズに対応するサービスの提供を進めてきました。

第1期計画の期間終了に伴い、より子どもや子育て家庭に寄り添った事業を推進していくため、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする、第2期大磯町子ども笑顔かがやきプランを令和2年3月に策定しました。

## 2. 量の見込みと確保方策について

計画では、幼児期の教育・保育と地域子ども・子育て支援事業について、量の見込み（どのくらい需要があるのか）と、その見込みに対する提供体制・確保内容と実施時期（いつ・どのくらい供給するのか）を定めることになっています。計画の策定にあたっては、各事業の現在の利用状況や利用希望の把握調査（ニーズ調査）を踏まえて、量の見込みを推計し、確保方策の目標値を設定しています。

## 3. 見直しの概要について

国の基本指針では「認定区分ごとの人数や、地域子ども・子育て支援事業の利用状況や利用希望者が見込みと大きく乖離している場合は、見直しが必要となる。」と明記されています。そのため、市町村は計画期間の中間年を目安として、必要な場合には計画の見直しを行うこととされており、中間年である今年度、実績値や地域の実情等を踏まえ、見込みと実績値の乖離が認められる「幼児期の教育・保育」及び「放課後児童クラブ」について量の見込みと確保方策の見直し作業を行いました。

## 4. 見直しの具体について

### (1) 幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策

量の見込み及び確保方策は、以下の認定区分ごとに設定することとされています。

《認定区分》

認定区分	対象者	対象施設
1号認定	満3歳以上の小学校就学前子どもであって、2号認定子ども以外のも	幼稚園 認定こども園
2号認定	満3歳以上の小学校就学前子どもであって、家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの	保育所 認定こども園
3号認定	満3歳未満の小学校就学前子どもであって、家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの	保育所 認定こども園 地域型保育事業

## 1号認定：幼稚園等（3～5歳）

### ■見直し後

#### 【量の見込み】

- 令和元年度から令和4年度の実績に基づき、令和5年度及び令和6年度の推計を行いました。
- 令和元年10月に幼児教育・保育の無償化がスタートし、町外の私立幼稚園等の利用者が増加したこと等により、実績値が当初計画値を上回り、令和5年度以降も計画値を上回ることが推計されるため、見直しを行います。

#### 【確保方策】

- 増加する保育ニーズに対応するため、令和6年度に町立大磯幼稚園を民営化により公私連携幼保連携型認定こども園へ移行します。
- 「幼稚園（公立）」は、見直し後の量の見込みをベースに、令和6年度の認定こども園移行に合わせて定員数を減少させました。なお、令和4年度及び令和5年度は、令和3年度の定員数を維持します。
- 「認定こども園（私立）」は、認定こども園移行にあたり、1号認定から2号認定への移行者の増加を見込み、1号認定の定員数を当初計画から5人減少の128人に見直します。
- 教育理念や教育環境に共感し、町外の特定の幼稚園等を志向される方が一定数おられ、利用ニーズは継続的に想定されるため、その分は確保方策に含めていません。

1号認定		実績			見直し後の計画値	
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み		424人	442人	409人	<u>415人</u>	<u>407人</u>
②確保方策	幼稚園 (施設型給付：公立)	330人	325人	325人	<u>325人</u>	155人
	幼稚園 (施設型給付：私立)	80人	80人	80人	80人	80人
	認定こども園 (施設型給付：私立)	61人	61人	61人	61人	<u>128人</u>
	町外幼稚園等	109人	127人	114人	121人	114人
	小計	580人	593人	580人	587人	477人
需給差 (②-①)		156人	151人	171人	172人	70人

■参考：当初計画

【量の見込み】

「日本の地域別将来人口推計（平成 30（2018）年推計）」における本町の将来人口（以下、人口推計といいます。）に基づき、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）の利用実績から算出した見込量は、令和 2 年度で 353 人、令和 6 年度で 340 人となり、現状の施設・定員でニーズが満たせる状態にあります。

なお、現在、町外の幼稚園・認定こども園（教育部）を利用している児童は約 100 人ですが、量の見込みの人数には、町外幼稚園等利用者も含めています。

【確保方策】

第 1 期計画期間中において、公立幼稚園の統廃合を実施するとともに、幼保連携型認定こども園を 2 園新設することで、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備してきました。

しかし、増加傾向にある保育ニーズに注視し、既存施設の活用を図った上で、さらに公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、1 園を認定こども園へ移行する計画（定員の段階的見直し含む）となっています。

- 令和 6 年度 幼保連携型認定こども園 1 園移行

1号認定		実施時期				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み		353人	345人	365人	367人	340人
② 確 保 方 策	幼稚園 (施設型給付：公立)	330人	260人	244人	228人	155人
	幼稚園 (施設型給付：私立)	80人	80人	80人	80人	80人
	認定こども園 (施設型給付：公立)	0人	0人	0人	0人	133人
	認定こども園 (施設型給付：私立)	61人	61人	61人	61人	
	小計	471人	401人	385人	369人	368人
需給差 (②-①)		118人	56人	20人	2人	28人

2号認定：保育所等（3～5歳）

■見直し後

【量の見込み】

- 令和元年度から令和4年度の実績に基づき、令和5年度及び令和6年度の推計を行いました。
- 保育の無償化の影響もあり、量の見込みの実績値は計画値を上回っています。量の見込みは新型コロナウイルス感染症の影響もあり徐々に減ってきていますが、今後回復することを見込み、直近の実績に合わせた推計値により見直しを行いました。

【確保方策】

- 令和6年度に町立大磯幼稚園を民営化により公私連携幼保連携型認定こども園へ移行することで利用定員を確保します。
- 「認定こども園（私立）」は、見直し後の量の見込みをベースに、移行する認定こども園の定員を設定した結果、当初計画から27人減少の120人に見直します。

2号認定 (保育ニーズ) (幼児期の学校教育の利用希望が多い)		実 績			見直し後の計画値	
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み		264人	259人	251人	<u>255人</u>	<u>248人</u>
② 確 保 方 策	認可保育所 (公立)	62人	62人	62人	62人	62人
	認可保育所 (私立)	70人	70人	70人	70人	70人
	認定こども園 (幼保連携型：私立)	75人	75人	75人	75人	<u>120人</u>
	幼稚園 (施設型給付：公立)	10人	15人	15人	15人	5人
	幼稚園 (施設型給付：私立)	10人	10人	10人	10人	10人
	小計	227人	232人	232人	232人	267人
需給差 (②-①)		-37人	-27人	-19人	-23人	19人

■参考：当初計画

【量の見込み】

人口推計を基に、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）の利用実績から算出した見込量は、令和 2 年度で 223 人、令和 6 年度で 261 人となり、現状の施設・定員ではニーズが満たせず、待機児童が発生する状態になります。

なお、現在、町外の保育所・認定こども園（保育部）を利用している児童は約 20 人ですが、量の見込みの人数には、町外保育所等の利用者も含めています。

【確保方策】

第 1 期計画期間中において、公立幼稚園の統廃合を実施するとともに、幼保連携型認定こども園を 2 園新設することで、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備してきました。

しかし、増加傾向にある保育ニーズに注視し、既存施設の活用を図った上で、さらに公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、1 園を認定こども園へ移行する計画（定員の段階的見直し含む）となっています。

●令和 6 年度 幼保連携型認定こども園 1 園移行

2号認定 (保育ニーズ) (幼児期の学校教育の利用希望が多い)		実施時期				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み		223人	226人	230人	234人	261人
② 確 保 方 策	認可保育所 (公立)	62人	62人	62人	62人	62人
	認可保育所 (私立)	70人	70人	70人	70人	70人
	認定こども園 (幼保連携型：公立)	0人	0人	0人	0人	147人
	認定こども園 (幼保連携型：私立)	75人	75人	75人	75人	
	幼稚園 (施設型給付：公立)	10人	15人	15人	15人	5人
	幼稚園 (施設型給付：私立)	10人	10人	10人	10人	10人
	小計	227人	232人	232人	232人	294人
需給差 (②-①)		4人	6人	2人	-2人	33人

3号認定：保育所等（0～2歳）

■見直し後

【量の見込み】

- 令和元年度から令和4年度の実績に基づき、令和5年度及び令和6年度の推計を行いました。
- 0歳児は、計画値と実績に大きな差異はありませんが、より実績に近づけた推計値により見直しを行います。
- 1・2歳児は、女性の就労率の上昇を背景とした保育ニーズの増加により、当初計画値を実績値が大幅に上回っていることから見直しを行います。

【確保方策】

- 令和6年度に町立大磯幼稚園を民営化により公私連携幼保連携型認定こども園へ移行することで利用定員を確保します。
- 令和6年度の認定こども園移行により利用定員が確保され、待機児童が解消できる見込みであるため見直しを行いません。

3号認定 (保育ニーズ)		実績			見直し後の計画値	
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み	0歳	20人	18人	24人	20人	22人
	1～2歳	174人	168人	143人	151人	138人
	小計	194人	186人	167人	171人	160人
②確保方策	認可保育所 (公立)	0歳	5人	5人	5人	5人
		1～2歳	23人	23人	23人	23人
	認可保育所 (私立)	0歳	12人	12人	12人	12人
		1～2歳	38人	38人	38人	38人
	認定こども園 (幼保連携型)	0歳   私立	11人	11人	11人	11人
		1～2歳   私立	39人	42人	42人	42人
	小規模保育事業 (A型)	0歳	2人	2人	2人	2人
		1～2歳	6人	10人	10人	10人
	小計	0歳	30人	30人	30人	30人
		1～2歳	106人	113人	113人	113人
合計		136人	143人	143人	143人	
需給差 (②-①)	0歳	10人	12人	6人	10人	
	1～2歳	-68人	-55人	-30人	-38人	

■参考：当初計画

【量の見込み】

人口推計を基に、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）の利用実績から算出した見込量は、令和 2 年度で 0 歳児が 23 人、1～2 歳児が 126 人となり、令和 6 年度で 0 歳児が 21 人、1～2 歳児が 117 人となります。現状の施設・定員において、0 歳児はニーズを満たすことは可能ですが、1～2 歳児についてはニーズを満たせず、待機児童が発生する状態になります。

なお、現在、町外の保育所・認定こども園（保育部）を利用している児童は約 5 人ですが、量の見込みの人数には、町外保育所等の利用者も含めています。

【確保方策】

第 1 期計画期間中において、小規模保育事業所を 1 園、幼保連携型認定こども園を 2 園新設することで、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備してきました。

しかし、増加傾向にある保育ニーズに注視し、既存施設の活用を図った上で、さらに公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、1 園を認定こども園へ移行する計画（定員の段階的見直し含む）となっています。

- 令和 3 年度 小規模保育事業所・認定こども園（保育部）の定員拡充
- 令和 6 年度 幼保連携型認定こども園 1 園移行

3号認定 (保育ニーズ)		実施時期						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
①量の見込み	0歳	23人	22人	22人	21人	21人		
	1～2歳	126人	126人	122人	119人	117人		
	小計	149人	148人	144人	140人	138人		
②確保方策	認可保育所 (公立)	0歳	5人	5人	5人	5人	5人	
		1～2歳	23人	23人	23人	23人	23人	
	認可保育所 (私立)	0歳	12人	12人	12人	12人	12人	
		1～2歳	38人	38人	38人	38人	38人	
	認定こども園 (幼保連携型)	0歳	公立	0人	0人	0人	0人	17人
			私立	11人	11人	11人	11人	
		1～2歳	公立	0人	0人	0人	0人	69人
			私立	39人	42人	42人	42人	
	小規模保育事業 (A型)	0歳	2人	2人	2人	2人	3人	
		1～2歳	6人	10人	10人	10人	12人	
小計	0歳	30人	30人	30人	30人	37人		
	1～2歳	106人	113人	113人	113人	142人		
合計		136人	143人	143人	143人	179人		
需給差 (②-①)		0歳	7人	8人	8人	9人	16人	
		1～2歳	-20人	-13人	-9人	-6人	25人	

## (2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策

### 放課後児童クラブ

就労等により昼間保護者のいない家庭の児童に対し、授業終了後や長期期間中の適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図る事業です。

### 大磯小学校

#### ■見直し後

##### 【量の見込み】

- 平成30年度から令和4年度の実績に基づき、令和5年度及び令和6年度の推計を行いました。
- 近年の女性就業率の上昇等により、共働き家庭等の児童数が増加しており、低学年（1～3年生）の実績数が当初計画より大きく上回っているため、実績をもとに見直しを行いました。高学年（4年生～6年生）は大きな差異はありませんが、実績をもとに見直しを行いました。

##### 【確保方策】

- 保育ニーズが当初計画を大きく上回るため、令和5年度及び令和6年度の数値を「増加」で修正しました。
- 児童の安全性の確保を考慮した上で、教室等を活用しながら、保護者の多様な就労形態への対応に努めています。なお、令和6年4月開園予定の認定こども園の設置に伴い学童施設を併設することで、放課後の児童の居場所の確保・体制づくりに努めます。

指数	学年別	実績					見直し後の計画値	
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実利用者数 (人)	低学年	84	90	101	108	134	138	138
	高学年	34	40	44	39	40	42	42
	合計 (①量の見込み)	118	130	145	147	174	180	180
	②確保方策			145	147	174	180	180
需給差 (②-①)				0	0	0	0	0



■参考：当初計画

【量の見込み】

- 人口推計と、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）の利用実績を基に伸び率を算出し、各小学校の見込み人数と掛け合わせて算出しています。

【確保方策】

- 現在の施設でニーズ量は満たされますが、保護者の多様な就労形態やニーズに対応できるよう、引き続き運営委託先の事業者と連携を図ってまいります。

指数	学年別	実績		量の見込み（ニーズ量）				
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実利用者数 （人）	低学年	84	90	86	79	69	66	67
	高学年	34	40	44	43	44	39	35
	合計	118	130	130	122	113	105	102
	確保方策			131	131	131	131	131

国府小学校

■見直し後

【量の見込み】

- 平成 30 年度から令和 4 年度の実績に基づき、令和 5 年度及び令和 6 年度の推計を行いました。
- 近年の女性就業率の上昇等により、共働き家庭等の児童数が増加しており、低学年（1～3年生）、高学年（4年生～6年生）ともに当初計画を上回るため、実績をもとに見直しを行いました。

【確保方策】

- 保育ニーズが当初計画値と大きく変わらないことから、令和 5 年度及び令和 6 年度については現行の保育施設の面積で充足できると見込みました。

指数	学年別	実績					見直し後の計画値	
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実利用者数 (人)	低学年	68	80	72	67	67	66	66
	高学年	22	24	33	37	45	46	46
	合計 (①量の見込み)	90	104	105	104	112	112	112
	②確保方策			112	112	112	112	112
需給差 (②-①)				7	8	0	0	0

■参考：当初計画

【量の見込み】

- 人口推計と、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）の利用実績を基に伸び率を算出し、各小学校の見込み人数と掛け合わせて算出しています。

【確保方策】

- 現在の施設でニーズ量は満たされますが、保護者の多様な就労形態やニーズに対応できるよう、引き続き運営委託先の事業者と連携を図ってまいります。

指数	学年別	実績		量の見込み（ニーズ量）				
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実利用者数 (人)	低学年	68	80	64	59	51	50	50
	高学年	22	24	33	33	33	28	25
	合計	90	104	97	92	84	78	75
	確保方策				112	112	112	112